

令和3年度第2回帯広市地域密着型サービス運営委員会の開催結果について

帯広市長 米沢 則寿 様

令和3年8月31日付け書面開催による令和3年度第2回帯広市地域密着型サービス運営委員会における報告事項について、帯広市地域密着型サービス運営委員会委員に意見を伺った結果、下記のとおり意見がありましたので報告いたします。

記

1 意見内容

(1) コロナ禍で利用者支援のあり方も大きく変わってきているかと思われませんが、引き続き利用者のQOLの向上につながる支援をお願いしたい。

また、スタッフも活動制限、感染対応等で身体的、精神的負担が増大していることと思います。緊張感のある日が続いておりストレスがたまるとは思いますが、職業倫理に反することなく対応をお願い致します。

(2) 審査の結果は了承致しました。地域から信頼されるグループホームとして運営される事を期待致します。

(3) 第八期地域密着型サービス指定事業所の今後の地域貢献に期待しています。

(4) 施設整備について

介護付き有料老人ホームからの用途変更だが老人ホームが減ってしまうことによる弊害はないのですか。

2 (4) の意見に対する帯広市の回答

第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画期間（令和3年度～令和5年度）で、既存の高齢者住宅（サ高住、住宅型有料老人ホーム）から介護付き有料老人ホームへ169床の用途変更を進めていますので、介護付き有料老人ホームは大幅な増となります。

介護人材が不足する中、介護人材の確保に影響を与えないよう、既存の施設の用途変更による施設サービス量の確保を図っています。

以上

令和3年9月21日

帯広市地域密着型サービス運営委員会

会長 濱 功之